こたえ

なぞ その２

安土城はごうかな城だった？

「安土城跡」からは、そこで使われていた物や、建物の跡が見つかっています。そのほか、絵図や古い文書なども伝えられています。まだなぞが多く残されているため、これらの資料からその姿を探るための研究が現在も続けられています。



安土城はそれまでに建てられた他の城とは大きく異なる特徴をもっていたといわれておるぞ。石垣・礎石（建物の柱の土台になる石のこと）・瓦の３つが、その代表じゃ。

やってみよう

１．石垣の模型を見比べて、ア～ウの石垣に、それぞれの城の名前を書きこんで、時代が古い順番に１～３の数字を書きこもう。



ア（ 彦根 城）



イ（ 安土 城）

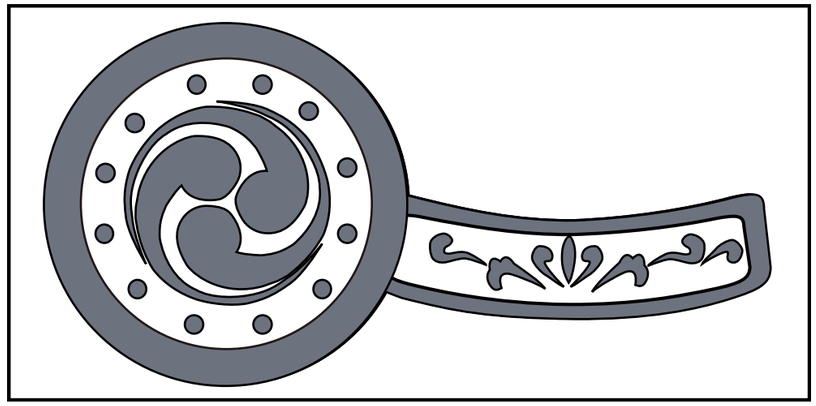


ウ（ 観音寺 城）

時代順　ア：3　イ：2　ウ：1

ア	イ	ウ
石を鉄の道具で割ったり石鋸で切ったりする。すき間がないようピッタリと積む。この時代には、高さ10mをこえる石垣も現れる。	石を２つに割って、割れた面を表に向けている。すき間に、小さな石を詰める。この時代は、高さ10mまでの石垣が多い。	自然の石の面を用いて積まれる。石の大きさはバラバラ。この時代は、技術的にあまり高い石垣は積めない。

２．安土城跡から見つかった金箔瓦を再現した模型を見ながら金箔が貼られていない部分に鉛筆で色をぬって、金箔瓦を再現しよう。





へこんだ部分か、でっぱった部分のどちらに金箔が貼られているかな？安土城の後の時代に建てられた城（大坂城など）で見つかったものも探してみるのじゃ。安土城とは違う部分に貼られているぞ。

金箔瓦は織田信長によって初めて使用されたといわれています。はじめ、信長やその一族の人だけが使っていました。

３．安土城の建物の模型と解説を見て穴埋めクイズに書きこんでみよう。

・安土城は、天正 ① 4 年（② 1576 年）から、織田信長によって築城（城を建てること）が開始されました。

・天主は、③ 5 層 ④ 6 階、地下１階、高さ約 ⑤ 46 mのつくりだった

・⑥ 本能寺 の変の混乱により、天正 ⑦ 10 年（⑧ 1582 年）天主は火で焼けてなくなりました。

・安土城の中には、天主の他にも建物の跡がたくさんあります。そのうちの１つに ⑨ 羽柴秀吉 の屋敷もありました。

この問題は、屋敷跡の模型を見てね！